

## 「第7次広島県保健医療計画」における 精神疾患対策について

2014年3月7日に国から示された、適切な精神医療を確保するための指針に基づき、広島県は2018年度から2023年度までの「第7次広島県保健医療計画」において、患者様本位かつ質が高く安心できる保健医療提供体制とするため、下記の通り、多様な精神疾患ごとに県内医療機関を、広島県全体を対象とする「県拠点医療機関」と、主に二次医療圏域を対象とする「地域連携拠点医療機関」とに分け、医療機関の医療機能と役割を明確にしました。

### 県連携拠点医療機関

- ① 地域ネットワーク構築のための地域連携会議の運営
- ② 地域・患者様への積極的な情報発信
- ③ 専門職に対する研修プログラムの作成と企画運営
- ④ 地域連携拠点機能医療機関からの個別相談への対応
- ⑤ 難治性精神疾患等の受入
- ⑥ 県内当事者団体等との合同相談会や勉強会の開催

### 地域連携拠点医療機関

- ① 地域ネットワーク構築のための地域連携会議の運営支援
- ② 地域・患者様への積極的な情報発信
- ③ 難治性精神疾患等の受入
- ④ 県内当事者団体等との合同相談会や勉強会の開催



当院はこれまで、下記の表の通り「精神科救急」「統合失調症・認知症・児童思春期精神疾患・災害医療」の指定を受け、講演会の開催(※添付の写真)や各種疾患に係る情報の発信、関係機関や地域の方々との連携会議の開催等々、様々な活動を行ってまいりました。

計画の中間年度である2020年度に中間評価と見直しが行われ、当院は2021年3月18日広島県医療審議会において、新たに「アルコール健康障害」の地域連携拠点機関として指定を受けました。引き続き、県内の他機関や団体等と連携しながら、精神疾患の医療体制の向上を担ってまいります。

	精神科 救急	統合 失調症	認知症	児童・ 思春期	災害医療	アルコール 健康障害
県 拠 点	○					
地域連携拠点		○	○	○	○	○

# 発達障害専門プログラムのご紹介

こちらは、自閉スペクトラム症の診断を受けた方、または自閉症傾向にある方対象の、対人スキル向上のためのプログラムです。コミュニケーションのコツを具体的に学びます。

コミュニケーションは少しの工夫と練習により、上達することが可能です。上達することで、対人ストレスが減り、生活しやすくなります。

当プログラムは全10回のシリーズとなっています。少し内容をご紹介すると、1回目は自己紹介の仕方を学び、2回目は、人との会話の始め方や、発達障害について学びます。3回目は、会話を続けたり終えたりする方法について学びます。4回目は表情訓練をしたり、相手の気持ちを読む練習をしたりします。

少人数のため、スタッフの行き届いたサポートの中、安心してご参加いただけます。興味のある方はお気軽に主治医にお尋ねください。



## コロナ禍での入院患者様と家族の面会の様子

コロナウイルス感染が長期化するなかで、当病棟の面会体制は週に1回のリモート面会のみです。以前は面会数が多く、令和1年では年間2712件、月平均226件でした。

現在はリモート面会8枠の予約が毎週全て埋まります。認知症をもつ患者様にとって、画面を通してご家族を認識することの限界がある場合も多く、リモート面会の難しさがあるのも事実です。それでもご家族様からは患者様の顔を見て安心された様子が伝わりますし、面会の再開を望まれる声もよくお聞きします。一方で、面会できないことでの症状の進行が危惧されますし、ご家族様と患者様、ご家族と職員の関係性が以前よりも薄れているようにも感じます。このような状況ですが、ご家族様と患者様の不安が少しでも軽減できるように努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

(3病棟長)



特定医療法人 大慈会 三原病院

医療理念

科学(science) 共感(sympathy) 自立(independence)

の三要素で構成されています。私達医療スタッフは、科学的根拠に基づいた先進の精神医療を届け入れ、大いなる想いの心で患者様と共に共感し、患者様やご家族様に安心していただける個別性の高い医療づくりを目指します。

開放的で自由な、のびのびとした環境を提供し、専門性と責任を持った態度で、患者様の自立や発展を促すことをスタッフの務めとしています。

三原病院の6ヵ条

- 患者様を第一とする医療を実践してまいります。
- 患者様と共感で結ばれた治療をつくりて貰います。
- 患者様の立場について先進的精神医療を提供いたします。
- 見込みやすく地域に開かれた病院を目指します。
- 社会復帰の促進に力を注ぎ、患者様の自立を支援いたします。
- 専門的である専門的なチーム医療を提供いたします。



特定医療法人 大慈会 三原病院

患者様の権利宣言

三原病院は、大いなる想いの心で、患者様の基本的人権を尊重し、職員一同により患者様の権利を尊重した性格医療を行っていくことを誓意いたします。

- 患者様は、一人の人間として、その人柄、感情などを尊重される権利があります。(個人の尊厳)
- 患者様は、性別・年齢・疾病の種類などにかかわらず、平等な医療を受ける権利があります。(医療の選択をする権利)
- 患者様は、医師および医療機関を選択する権利があります。
- 患者様は、自らの状況を理解するためには必要な情報を知る権利があります。(情報を見る権利)
- 患者様は、自己の自由な意思に基づいて、治療その他の治療行為を受け、あるいは拒否する権利があります。(自己決定権)
- 患者様は、自己のプライバシーを守られる権利があります。(個人保持の権利)

\*患者様へのお願い\*

上記の宣言文函に向けて、私たちが役員で安全かつ確かな医療の提供を行うために、次のことをお読みください。  
◎ご自身の医療に関する正しい情報の提供、および医療への積極的なご参加  
◎他の患者様の治療に干渉をきたさないようにご配慮  
ただし、医師及び医療者には秘密維持があります。自らの良心や医療的判断に反することに関しては、患者様からの請求があるごとに、医療従事者を行使しないことがありますことをご理解ください。

# そうめん流し風を実施しました



7月31日(土)にデイケアでそうめん流し風を実施しました。感染対策のため、口に入れるそうめんをみんなの箸でつつくことはできません。そこでそうめんの代わりに毛糸を流し、取れた毛糸の色に応じて具材を配るスタイルで行いました。黄色は錦糸卵、緑はきゅうり、ピンクはハム、ポーナスカラーが取れたらそうめん2倍!!といった感じで皆さんにゲーム性を感じてもらい、さらに少し涼を味わってもらえたと思います。メンバーさんは「そうめんを流さず、毛糸を流すという発想が良かった」「楽しかった」「少し量が足りなかった」といった感想が聞かれました。来年こそは、感染を気にすることなく、みんなで普通の流しそうめんを楽しめたらいいなあ。

(K.S)



## 広島県東部認知症疾患医療センターインフォメーション

当法人は、平成22年7月20日、広島県より指定をうけ「広島県東部認知症疾患医療センター」を、開設致しました。認知症疾患医療センターとは、広島県内各地域の認知症に関連する保健・医療・福祉関係者等と連携し、認知症に関する様々なご相談や治療、また認知症に関する研修・情報提供等を行なう機関です。

### <認知症疾患医療センターの主な業務内容>

- ①認知症医療に関するご相談・専門医による診察(認知症の鑑別診断等)
- ②認知症疾患の周辺症状や身体合併症への急性期対応
- ③地域保健医療関係者(かかりつけ医等)に向けた研修会の実施
- ④連携確保のため広島県内の保健・医療・福祉機関との協議会の開催
- ⑤認知症医療に関する情報の発信(ホームページ、パンフレット等)

### <認知症疾患医療センターの実施体制>

- ◆電話相談受付時間：月曜～金曜(祝日を除く)  
9:00～17:00
- ◆専門外来受付時間：月曜～土曜(祝日を除く)  
9:00～11:30(予約制)

※電話相談・専門外来予約等は専用電話番号：  
0848-61-5515へお願い致します。



電話相談及び専門外来は県内全域から受け付けます。お気軽にご相談ください。



当院は統合失調症をはじめ、うつ病や神経症、認知症やアルコール依存症など精神科領域のあらゆる病気に対し先進の精神医療を提供いたします。また当院は広島県精神科救急医療システム整備事業における精神科救急医療施設の指定病院でもあります。病気に関するご家族からのご相談もお受けしていますので、お気軽にお問合せください。

### ■初診・再診・入院のご案内

初診の患者様は、事前に電話等でご予約のうえご来院ください。来院時には、保険証、他の病院に通院している場合は、紹介状、服薬中の薬があれば、薬の処方内容を書いた用紙をお持ちください。

再診の患者様は、月に一回保険証等の提示をお願いします。

尚、再診予約及び予約の変更は、予約日前日の17時までにお願いします。午前中は混み合いますので、午後(13:00~17:00)からのお電話にご協力ください。

**診察時間 9:00~12:00  
(受付8:30~11:30)**

但し、土曜日の12:00以降は  
時間外の診療になります。

**初診受付 8:30~11:00  
休診日 日曜・祝日  
連絡先 (0848)63-8877**

入院治療については、主治医の診察が必要です  
ので、まずはご連絡ください。

### ■病院案内図

乗車場所：JR三原駅西口[隆景広場]



三原駅西口発(行き)	時	三原病院発(帰り)
50	7	20
00 30 50	8	30 50
10 30	9	10 30
00 30	10	00 30
00 30	11	00 30
	12	00 30
	13	00 30
30	14	00 30
10	15	10
00	16	30



### 編集後記

ファンタジー。  
オリンピック・パラリンピックも終了し、スポーツの印象が強かった夏が終わり、  
秋がやってまいりました。読書の秋と言います。

私は、小説をよく読みますが、虚構の世界に没頭しながら、登場人物と一緒にになって様々な感情を味わうのも楽しいものです。

よく考えてみれば、私たちも普段から虚構の世界に生きているようなものです。私たちが未来に思いをはせる時には、期待と不安のデフォルメからは逃れませんし、過去を振り返る時には随分美化していります。相手からしてもらったことは当たり前と思って感謝を忘れ、自分がしたことは大きさに捉えて見返りを求めます。まさに虚構です。できることなら、美しい物語を描きたい。相手の行為には感謝して、自分の行為は、さらりと行き見返りを求めない。こういう大人にならたら、すごく格好良いと日々思っていますが、私の場合は、周りから格好良く思われたいと切に願っているので、下心がありますね。

いくつになっても物語の主人公には憧れてしまうものです。道は遠いです。

(H.T.)